

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	化学基礎	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	改訂版 高等学校 化学基礎 （数研出版）				
副教材	リードLightノート化学基礎 （数研出版）						

学習目標	化学と人間生活との関わりについて学習し、総合的な見方や考え方を養成します。 主体的に観察、実験などに取り組むことによって科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てます。 物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化をマクロ的に捉える見方や考え方を養います。
学習方法	毎時間にテーマを定め、それに基づき授業展開を行います。授業で学習する内容は、暗記するのではなく、規則性を見付けたり、身近な事柄に結び付けたりすることで理解が進みます。板書を写すだけでなく、自分で調べたことなどを付け加え、自分が使いやすいノートを作しましょう。さらに問題集を積極的に解いて、学習内容の定着を図ることが大切です。観察・実験は内容をよく把握し、安全に注意して行いましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	序章 化学の特徴 第Ⅰ編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	私たちが生活しているこの世界は、様々な物質から成り立っています。ここでは、学問としての化学が、人類の発展にどのように寄与してきたかについて学習します。 物質がその構成上からどのように分類されているかを学びます。また、成分の観点から元素について、粒子の熱運動の観点から物質の状態について理解します。その他にも元素の性質が電子配置によって決まり、電子配置の周期性が元素の性質に反映していることを理解します。原子は、電子配置によって結び付き方に規則性があることを理解します。それぞれの化学結合の性質について学習します。
2学期	第Ⅱ編 物質の変化 第1節 物質の量と化学反応式 第2節 酸・塩基とその反応	物質の量を考え、化学変化を量的に考察する考え方を学びます。その中で使われてきた器具についても学習し、科学の発展に寄与した諸法則についても学習します。酸と塩基の基本的知識を復習し、酸・塩基の定義を理解します。さらに、水素イオンの授受による水素イオン濃度 pH の概念、中和反応について学びます。「実験」「探究活動」を通じて、生徒が主体的に課題に取り組み、問題解決の方法を身に付けられるようにします。
3学期	第3節 酸化還元反応	酸素や水素、電子の授受による酸化還元反応の例を学び、電子移動反応として統一的に理解します。 金属元素のイオンと単体の反応を酸化還元反応の観点から考え、イオン化傾向の意味を学習します。代表的な電池の仕組みや電極反応を学習します。酸化還元反応を利用した金属の製造法について学習します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理基礎	学年	第5 学年	類型	サイエンス
単位数	2 単位	教科書	物理基礎 改訂版（啓林館）				
副教材	物理基礎問題集（高教研理科部会）、物理基礎・物理実験ノート2026（高教研理科部会）						

学習目標	物理学と人間生活との関わりについて学習し、物理的な見方や考え方を養成します。 主体的に観察、実験などに取り組み、科学の方法を学び、物理的に探究する能力と態度を育てます。物体の運動、様々な形のエネルギーを中心に学び、物理学における基本的な原理・法則を理解し、活用する力を養います。
学習の方法	方程式や関数といった基本的な数学を用いて、物体の様々な運動について考えます。授業で学習する内容は、暗記するのではなく、規則性を見付けたり、公式の導出過程を理解したりすることが大切です。板書を写すだけでなく、自分で調べたことや数式の展開過程などを後から見返せるよう、工夫したノート整理を心掛けましょう。さらに学習内容を定着させるためには、十分な問題演習が必要です。問題集の問題は何回も繰り返し解き直すことで効果が表れることに注意しましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第2章 力と運動 第3章 仕事とエネルギー 第2部 熱 第1章 熱とエネルギー	主に直線上を動く物体の運動を正確に表す方法について学習します。鉛直に落下する物体や、斜め上方に投げ出された物体などの運動を記録、分析してそれらの表し方を学びます。 また、身の回りの物体には重力や摩擦力などの力がはたらいています。ここでは、いろいろな力の性質を学び、力がはたらいた場合の運動の様子を調べ、運動の法則について理解します。 仕事について理解を深め、摩擦がはたらかない場合の運動では力学的エネルギーが一定に保たれることについて学習します。熱や波、電気などの物理現象とエネルギーの関係を学ぶとともに、いろいろな種類のエネルギーとその利用について学びます。
2 学期	第3部 波 第1章 波の性質 第2章 音 第4部 電気と磁気 第1章 静電気と電流 第2章 交流と電磁波 以下は「物理」	水面の波や音の波、電波、光の波など、私たちの身の回りにはいろいろな波があふれています。ここでは、波とは何か、波はどのように伝わるのかなどを調べ、波の性質を学習します。 静電気や電流など、電気に関わる法則を学習し、さらに発電機や電磁波などについて理解を深めます。
3 学期		

備考	2学期中間考査までの集中履修を設定しています。2学期中間考査以降は物理を集中履修します。
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	物理（啓林館）				
副教材	物理基礎問題集（高教研理科部会）、物理基礎・物理実験ノート2026（高教研理科部会）、セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）						

学習目標	「物理基礎」の学習を踏まえて、物理的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行います。また、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。
学習の方法	授業を中心に、教科書に書かれている基本的事項を系統立てて整理していきます。さらに、問題集で学習内容を確認するとともに、実験を通して学習内容の理解を深め、探究する態度も養います。 力学、熱力学、波動、電磁気学、原子物理学といった各分野において、必要な計算力を身に付けるためにプリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期		
2学期	第1部 様々な運動 第1章 物体の運動 第2章 剛体のつり合い 第3章 運動量と力積 第4章 円運動と単振動 第5章 万有引力	私たちが実際に目にする運動は、曲線を描くものが少なくありません。ここでは、平面内での物体の運動を中心に、大きさのある剛体の重心やつり合いの関係について学習します。 衝突や分裂といった短い時間で複雑に力がはたらく運動について成り立つ法則について学習します。一定の時間間隔で同じ動きを繰り返す運動が自然界には多く見られます。また、私たちの身の回りにはこのような運動の特徴を利用しているものが多くあります。ここでは周期的な運動の元となる力の性質や、運動の様子について学習します。 ニュートンの発見した万有引力の法則を学び、天体だけではなく、人工衛星や探査機などの運動についても考えます。
3学期	第2部 熱 第1章 気体分子の運動 第3部 波 第1章 波の性質 第2章 音	気体の温度・圧力・体積のようなマクロな量と、気体分子の速さのようなミクロな量の関係を考え、さらに熱機関の原理について考察します。気体の状態は、圧力・体積・温度で表されます。気体の状態の変化の代表的な4つの場合について、エネルギーの移動の状態を調べます。 物理基礎の内容をさらに掘り下げ、平面や空間を伝わる波についての性質を学びます。
備考	2学期中間考査以降の集中履修を設定しています。2学期中間考査以前は物理基礎を集中履修します。	

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	化学	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	化学（数研出版）				
副教材	改訂版　リードLightノート化学（数研出版）						

学習目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成します。
学習の仕方	授業を中心に教科書、プリントなどを活用し、化学の基本的な概念・法則を理解するとともに、観察、実験などを通して学習内容の理解を深め、探究する力も養っていきます。 また、結晶構造、気体の法則、溶解度、熱化学方程式、電気分解、化学平衡などの計算が理解できるよう、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。 さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1編 物質の状態 第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体	イオン結合、共有結合、金属結合からできている物質について学習します。また、塩化ナトリウム型結晶格子、体心立方格子、面心立方格子、六方最密構造の結晶格子を学習します。 物質の融点、沸点を分子間力や化学結合と関連付けて学習します。また、エネルギーについては、融解熱、蒸発熱を学習し平衡については、気液平衡と蒸気圧を学習します。 ボイル・シャルルの法則、気体の状態方程式、分圧の法則や理想気体と実在気体の違いを学習します。
2学期	第4章 溶液 第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解	溶解の仕組み、固体の溶解度や気体の溶解度を学習します。また、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧、コロイドを学習します。 エンタルピー変化と化学反応式、反応エンタルピーの種類、ヘスの法則、反応エンタルピーと結合エネルギーとの関係を学習します。また、化学反応と光も学習します。 ダニエル電池、鉛蓄電池、燃料電池などを学習します。また、電気分解における各電極の反応が酸化、還元反応であることや、ファラデーの法則について学習します。
3学期	第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡 第3編 無機物質 第1章 非金属元素	反応速度の定義や反応速度が条件によって変化することを学習します。また、触媒や活性化エネルギーについて学習します。 平衡定数やルシャトリエの原理について学習します。また、弱酸、弱塩基の電離定数、塩の加水分解、緩衝液などについて学習します。 1、18、17、16、15、14 族の非金属元素の単体及びその化合物の性質や反応について、周期表と関連付けて学習します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物基礎	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	高等学校 生物基礎（数研出版）				
副教材	生物基礎・生物実験ノート2026（高教研理科部会）、生物基礎・生物問題集PDF版（高教研理科部会）、三訂版ニューステージ生物図表（浜島書店）、新編アクセス総合生物（浜島書店）、リードLightノート生物基礎（数研出版）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の方	授業を中心に、特に教科書に書かれてある基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として問題集を効果的に活用していきます。 実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目で見、科学的現象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物の系統や分類について「生物の多様性」を学ぶとともに、細胞やエネルギー代謝など、どの生物にも共通する「生物の共通性」について、その基本的な考え方を学習します。 DNAの基本単位は、全ての生物に共通していますが、そこからできるタンパク質が異なり、多様な個体が生まれています。それらが、どのように子孫に伝えられ、個体の発生につながっているのかを結び付けながら学習します。
2学期	第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系 (2学期中間考査以降は生物) (3学期は生物のみ)	体液が営む恒常性について学習します。腎臓や肝臓がどのように働いているのか、また、血液の果たす役割、そしてホルモンによる調節機構や免疫に関する機構について学習します。 植物の様々な植生をもとに、気候との関係などに関連付けながら、それぞれの地域で異なる植生になる理由や、世界中にはどのようなバイオームが存在するかなどを学習します。 生物は互いに関わりを持ちながら生活しています。食物連鎖やエネルギーの流れ、物質の循環など、生物的環境と無機的環境の関連性と、それらのアンバランスより生じる守株の環境問題について、科学的に考察します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物基礎	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2単位	教科書	高等学校 生物基礎（数研出版）				
副教材	生物基礎問題集PDF版（高教研理科部会）新編アクセス生物基礎（浜島書店）、リードライトノート生物基礎（数研出版）、ニューステージ生物図表（浜島書店）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活や遺伝情報の発現など、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。そして、生命の尊さを学びます。
学習の方法	授業を中心に、特に教科書に書かれている基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として問題集を効果的に活用していきます。 観察、実験を通して、実際に手で触れ目で見て、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実験プリント 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実験等の行動観察 【主体的に取り組む態度】ノート、授業中の発言、挙手、発表内容

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物の系統や分類について「生物の多様性」を学ぶとともに、細胞やエネルギー代謝など、どの生物にも共通する「生物の共通性」について、その基本的な考え方を学習します。 DNAの基本単位は、全ての生物に共通していますが、そこからできるタンパク質が異なり、多様な個体が生まれています。それらが、どのように子孫に伝えられ、個体の発生につながっているのかを結び付けながら学習します。
2学期	第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系（第1節、第2節）	体液が営む恒常性について学習します。腎臓や肝臓がどのように働いているのか、また、血液の果たす役割、そしてホルモンによる調節機構や免疫に関する機構について学習します。 植物の様々な植生をもとに、気候との関係などに関連付けながら、それぞれの地域で異なる植生になる理由や、世界中にはどのようなバイオームが存在するかなどを学習します。
3学期	第4章 生物の多様性と生態系（第3節、第4節）	生物は互いに関わりを持ちながら生活しています。食物連鎖やエネルギーの流れ、物質の循環など、生物的環境と無機的環境の関連性と、それらのアンバランスより生じる守株の環境問題について、科学的に考察します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	生物（数研出版）				
副教材	生物基礎・生物実験ノート、生物問題集PDF版（高教研理科部会）三訂版ニュースページ生物図表（浜島書店）、新編アクセス総合生物（浜島書店）、リードLightノート生物（数研出版）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の方	授業を中心に、特に教科書に書かれている基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として問題集を効果的に活用していきます。 実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目で見、科学的現象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期		
2学期	ここまでは「生物基礎」（2学期中間考査以降） 第1編 生物の進化 第1章 生物の進化 第2編 生命現象と物質 第2章 細胞と分子 第3章 代謝	地球の歴史と遺伝的な観点から生物がいかに進化してきたかを理解することにより、現在の地球を理解することに結び付けながら学習します。 現在の地球上には、多種多様な生物が存在していることを再認識するとともに、生物個々が存在する意義について考えます。 細胞を構成する物質と、細胞の構造や機能との関係を学び、生物体内で起こっている生命活動について理解します。 代謝について、生物体内で起こっている化学反応について実験を通して理解します。
3学期	第3編 遺伝情報の発現と発生 第4章 遺伝情報の発現と発生	DNAの遺伝情報を元にタンパク質が合成される過程について系統立てて学びます。 バイオテクノロジーの現状と今後について学びます。
備考		

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学基礎	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2単位	教科書	地学基礎〈改訂版〉（啓林館）				
副教材	地学基礎の基本マスター新訂版（啓林館）、センサー地学基礎（啓林館）、地学学習帳（高教研理科部会）						

学習目標	地球や宇宙を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	授業では、教科書に記載されている基本的な事項を学習していきます。学習内容は単に暗記していくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、図表に掲載されているイラストや写真、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1部 地球の構造と活動 第2部 大気と海洋	第1部では、地球を全体で見たときの、形や大きさといった概観や内部構造について学習します。また、地球の大地の活動についても学習します。 第2部では、大気の構造と状態について学習します。
2学期	第3部 移り変わる地球	太陽放射によって大気や海水が受ける影響とその連動について学習します。また、これらの学習内容をもとに、日本の天気の変化について学びます。 第3部では、宇宙の誕生から、太陽系と地球の誕生までについて、地球と生命がどのようにして現在の姿となったかについて学習します。
3学期	第4部 自然との共生	また、地球と生命の歴史を探り、読み解く方法について学習します。 第4部では、これまでの学習をふり返し、自然環境と人類の共生について考えます。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	物理（啓林館）				
副教材	セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）、ビーライン物理（第一学習社）						

学習目標	「物理基礎」の学習を踏まえて、物理的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や、原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。
学習方法	授業を中心に、教科書に書かれている基本的事項を、系統立てて整理していきます。問題集で学習内容を確認するとともに、実験を通して学習内容の理解を深め、探究する態度も養います。力学、熱力学、波動、電磁気学、原子物理学といった各分野において必要な計算力を身に付けるため、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。さらに、年5回法の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第2部 波 第3章 光 第4部 電気と磁気 第1章 電界と電位	古くから人類の多くの活動に利用されてきた光について学びます。ここでは、光の進み方や光の波としての性質について、詳しく学習します。スリットによる光の干渉など具体的な現象を通して光の性質について考察を深めます。 雷などの身の回りの現象だけではなく、原子・分子レベルにおいても、電気の力は自然界の中で重要な役割を果たしています。ここでは静電気のはたらきについて定性的・定量的に考察し、静電気に関する理解を深めます。また、コンデンサーの基本的な性質について学習します。
2学期	第2章 電流 第3章 電流と磁界 第4章 電磁誘導と電磁波	現在の生活に欠かせない電流に関する技術の基礎について、電流のはたらきに注目して学習します。 磁気力と電流の関係について詳しく学習します。 変化する磁界や電流の作用により起こる電磁誘導について、定性的・定量的に考察し、私たちの生活の中で多く利用されている交流や電磁波について理解を深めます。
3学期	第5部 原子・分子の世界 第1章 電子と光 第2章 原子・原子核・素粒子	原子が近い距離ではお互いに引き合い、近づき過ぎると互いに反発するという一見矛盾するような現象について、光電効果や光量子仮説など近代の物理学の基礎的な分野を学習します。 X線をはじめα線・β線・γ線などの放射線の性質や線量の測定方法などを学びます。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	化学	学年	第 6 学年	類型	サイエンス
単位数	3 単位	教科書	化学（数研出版）				
副教材	改訂版 リードLightノート化学（数研出版） チェック＆演習化学（数研出版）						

学習目標	「化学基礎」の学習を踏まえて、化学的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割を理解させ、科学的な自然観を育成します。
学習の方法	授業を中心に教科書、プリントなどを活用し、化学の基本的な概念・法則を理解するとともに、実験を通して学習内容の理解を深め、探究する態度も養います。 また、気体の法則、溶解度、熱化学方程式、電気分解、化学平衡などの計算が理解できるよう、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。 さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と性格 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物	炭素骨格、官能基による有機化合物の分類や有機化合物の元素分析について学習します。アルカン、アルキン、アルケンなどの化合物の構造、性質、反応などを学習します。また、構造に関連して、構造異性体や幾何異性体も学習します。アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸、エステルなどの化合物の構造、性質、反応などを学習します。また、構造に関連して、光学異性体の生態も学習します。さらに、日常生活や社会と関連付けて、油脂やセッケンも学習します。
2学期	第4章 芳香族化合物 第5編 天然有機化合物 第1章 天然有機化合物 第2章 天然高分子化合物 第6編 合成高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 合成高分子化合物	芳香族炭化水素、フェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族アミンの構造、性質、反応などを学習します。また、これらの化合物は、ベンゼン環及び官能基により性質が特徴付けられることを学習します。天然有機化合物である糖類やタンパク質等について学習します。また、それらの構造や性質などについて学習します。合成高分子化合物である合成繊維やゴムについて学習します。また、それらの構造や性質などについて学習します。さらに第5編、第6編では日常生活との結び付きについても学習します。
3学期	総合的演習	2年間行ってきた化学の復習と応用を学習します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	生物（数研出版）				
副教材	生物実験ノート・問題集（高教研理科部会）、新課程 二訂版 スクエア最新図説生物（第一学習社）、セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、リードLightノート生物（数研出版）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の方法	授業を中心に、特に教科書に書かれてある基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として生物実験ノート・問題集を効果的に活用していきます。生物実験ノート・問題集にある実験を中心に、実際に手で触れ、目で見て、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。また、問題集で内容をまとめます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実験プリント 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実験等の行動観察 【主体的に取り組む態度】ノート、授業中の発言、挙手、発表内容

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	第4編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動 第6章 植物の環境応答	動物の反応と行動として、感覚器官や神経系や筋肉の働く仕組みを学ぶとともに動物個体の行動について理解します。 植物の反応として、植物ホルモンの働きや光への応答に関わる光受容体について学びます。 生物がその命を次代に伝え、受精卵が生態になる仕組みについて学びます。 また遺伝学についても学習します。
2 学期	第5編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系 総合演習1	現在の地球上には、多種多様な生物が存在していることを再認識するとともに、生物個々が存在する意義について考えます。 これまで学んできたことの総まとめを行います。
3 学期	総合演習2	これまで学んできたことの総まとめを行います。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物探究	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 5教科
単位数	2単位	教科書	高等学校 生物基礎（数研出版）				
副教材	セミナー生物基礎（第一学習社）、新課程 二訂版 スクエア最新図説生物（第一学習社）、生物実験ノート・問題集（愛媛県高等学校教育委員会理科部会）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の仕方	授業を中心に、特に教科書に書かれてある基本的事項について問題集を活用しながら、系統立てて整理していきます。また、その確認としても問題集を効果的に活用していきます。実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目で見、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。また問題集で内容をまとめます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物の系統や分類について「生物の多様性」を確認するとともに、細胞やエネルギー代謝など、どの生物にも共通する「生物の共通性」について、その基本的な考え方を学習します。 DNAの基本単位は、全ての生物に共通していますが、そこからできるタンパク質が異なり、多様な個体が生まれています。それらが、どのように子孫に伝えられ、個体の発生につながっているのかを結び付けながら学習します。
2学期	第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布 総合演習1	体液が営む恒常性について深く学習します。腎臓や肝臓がどのように働いているのか、また、血液の果たす役割、そしてホルモンによる調節機構や免疫に関する機構について学習します。 植物の様々な植生をもとに、気候などに関連付けながら、それぞれの地域で異なる植生になる理由や、世界中にはどのようなバイオームが存在するかなどを学習します。 これまで学んできたことの総まとめを行います。
3学期	総合演習2	これまで学んできたことの総まとめを行います。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学基礎	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	高等学校 地学基礎 改訂版（啓林館）				
副教材	地学基礎の基本マスター 四訂版（啓林館）						

学習目標	地球や宇宙を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	授業では、教科書に記載されている基本的な事項を学習していきます。学習内容は単に暗記していくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1部 地球の構造と活動 第2部 大気と海洋	第1部では、地球を全体で見たときの、形や大きさといった概観や内部構造について学習します。また、地球の大地の活動についても学習します。 第2部では、大気の構造と状態について学習します。
2学期	第3部 移り変わる地球	太陽放射によって大気や海水が受ける影響とその連動について学習します。また、これらの学習内容をもとに、日本の天気の変化について学びます。 第3部では、宇宙の誕生から、太陽系と地球の誕生までについて、地球と生命がどのようにして現在の姿となったかについて学習します。
3学期	第4部 自然との共生	また、地球と生命の歴史を探り、読み解く方法について学習します。 第4部では、これまでの学習を振り返り、自然環境と人類の共生について考えます。

備考	特記事項なし。
----	---------

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学探究	学年	第 6 学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2 単位	教科書	高等学校 地学基礎（啓林館）				
副教材	センサー地学基礎（啓林館）、ビジュアルプラス地学基礎ノート（実教出版） 地学学習帳（愛媛県高等学校教育委員会理科部会）						

学習目標	地球や宇宙に関する基礎的な内容について再度学習し、広大で幅広い地球規模の空間・時間スケールで起こる事象についての理解を深めます。科学的思考力と知識を定着させるとともに、身の回りの諸現象に対する主体的な認識及び判断力を身に付けます。
学習の方法	地学基礎で学習した内容を更に深めていきます。学習内容は単に暗記していただくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、図説に掲載されているイラストや写真、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	1 固体地球とその変動 2 大気と海洋	地球の大きさと形について、重力・地磁気・内部構造といった内容まで掘り下げて学習します。 火成岩のできるメカニズムや、主要な火成岩について確認し、主な造岩性質や結晶構造について学習します。 大気層の構成及び熱収支について確認し、大気の流れについて学びます。更に、海水の構造を確認し、波・潮汐の構造を学び、理解を深めます。
2 学期	3 移り変わる地球 4 宇宙の構成 総合演習 1	風化や浸食などによる地表変化について、理解を深めます。 太陽系について確認し、惑星の運動まで内容を深めます。 これまでの学習内容の総まとめを行います。
3 学期	総合演習 2	これまでの学習内容の総まとめを行います。

備考	
----	--